

第5回南島原市部活動在り方検討委員会



南有馬庁舎3階大会議室
令和6年6月7日（金）
19：00～21：00

議事1 令和5年度の成果と令和6年度の地域クラブ等について

(1) 令和6年度の状況について

①長崎県中学校体育連盟の動き

○令和5年度県中総体から地域クラブの参加状況

R6 男女163チーム参加 参加人数約1100名

R5 男女 86チーム参加 参加人数490名

○合同部活動（拠点校部活動）の規定の見直し

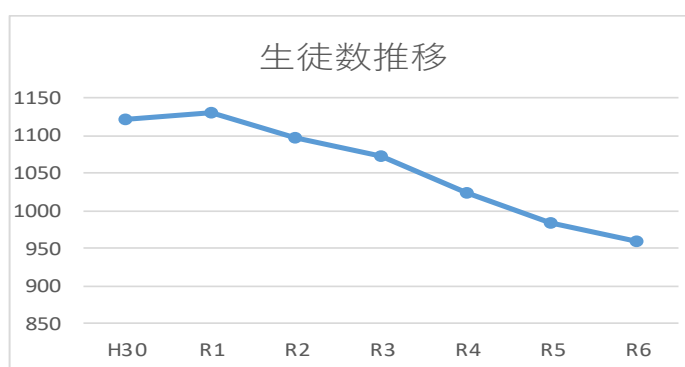
※付帯合同…クラブ参加に伴って、学校同士が合同で参加できやすくなった。

※拠点校部活動…南島原市5校の拠点校部活動

(2) 南島原市の現状

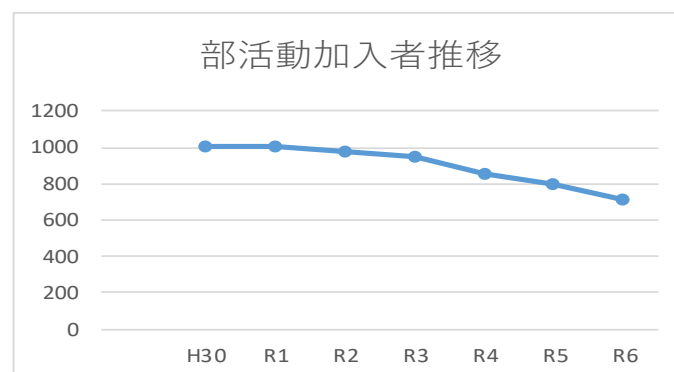
①生徒数の推移（R1～R6）

年度	生徒数
H30	1122
R1	1130
R2	1098
R3	1072
R4	1024
R5	984
R6	960



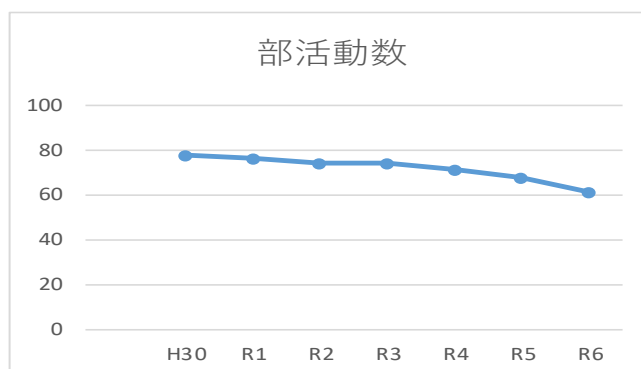
②部活動加入状況（R1～R6） ※加入率74%

年度	計
H30	1008
R1	1007
R2	978
R3	946
R4	859
R5	794
R6	709



③部活動数の推移（R1～R6） R5から7つ減（大きな減少幅）

年度	部活動数
H30	78
R1	76
R2	74
R3	74
R4	71
R5	68
R6	61



学校名	生徒数	バレーボール		バスケットボール		ソフトテニス		卓球		陸上		柔道		野球		サッカー		剣道		空手		吹奏楽		美術		パソコン		ボランティア		計	加入率	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	86		7	14		7	2	8	4	4	4			13								1	11							75	87.2%	
	73		10			10			8	5	7			5								0	12							57	78.1%	
	88		13	10		14	10			7	9											0	9							72	81.8%	
	75		2	10		10	16			1	2											2	12							55	73.3%	
	179		12		13	15	18	5		11	4			11								3	17	3	18					130	72.6%	
	163	18	2		17	13	12	6	5					31				5	3			0	12	4	7					135	82.8%	
	97		10			16	8											1	1	1	3	0	10							50	51.5%	
	199		3	22	10	14	26			12	0			5	0			1	6			3	31	2	10					135	67.8%	
合計	960	18	59	56	40	99	92	19	17	40	26	0	0	65	0	0	0	7	10	1	3	9	114	9	35	0	0	0	0	709	73.9%	
		1	8	4	3	8	7	3	3	6	6			5				3	3	1	1	8		3			(男女別カウント)				73	61

④地域クラブ加入者 (R 5 1 2 4 名 R 6 1 5 8 名)

地域クラブ	サッカー	バスケットボール	硬式テニス	卓球	剣道	空手	水泳	バドミントン	ソフトボール	バレー	軟式野球	レスリング	軟式テニス	ダンス	計
	7	6	1												14
	12		2			4	2		4						24
	9	2				1						1			13
	28	2	1									1			32
	15					6					3				24
	6			4							1				11
				12		1		3						3	19
	4		1		4		3		1				1		14
	81	10	5	16	4	12	5	3	5	0	4	2	1	3	151

(3) 令和6年度部活動地域移行に関する周知活動について

- ①令和6年6月21日：保護者代表説明会（市P連役員対象）
- ②令和6年7月12日：保護者説明会（市内全域小中学校保護者、関係者対象）
※コレジヨホール（大ホール）
- ③令和6年4月～8月：学校を対象に説明会実施（学校の求めに応じて）
※対象者：児童生徒、保護者、教職員
- ④令和6年度中：関係団体へ推進計画の説明
- ⑤メディア戦略（市広報誌・HP・市公式ラインを活用）

(4) 南島原市中学校地域移行期間における生徒移送サービスについて

実施期間 令和6年7月から令和8年8月まで（3年間）

対 象 者

【往路のみ】

- ①市内中学校に在籍し、拠点校部活動へ入部している生徒
- ②令和8年度までに地域クラブが設立されたが、移送手段が整っていない地域クラブへ加入した生徒。

【往路・復路】

- 地域クラブに加入している生徒。（TEAM ひまわり、アザリーベンスポーツクラブが運営主体となる地域クラブに加入している児童・生徒）

議事2 南島原市中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針について

＜活動に関する検討内容＞ ※市ガイドラインから

- (1) 平日1日・土日どちらか1日を休日とする。(第3日曜日は家庭の日原則休日)
- (2) 平日2時間・土日どちらか3時間程度の練習とする。
- (3) 大会等の参加については7回～12回程度とする。
- (4) 国・県は「在り方に関する方針」は、ほぼ同上。

議事3 新たに設立する地域クラブの指導者の確保について

※文化部活動も同様の考え方で進めていく。

(1) 運営主体：地域総合クラブ型

- ①TEAM ひまわり、アザリーベンススポーツクラブと連携して設立する。

※指導を行いたい者が設立する。

- ②競技種目を増やすことが可能か。

(2) 運営主体：協会クラブ型

- ①地域クラブの設立ができるか。

- ②指導者の確保について（学校の部活動指導者との連携含む）

- ③輸送手段について

(3) 運営主体：学校クラブ型

- ①部活動合同・付帯合同・拠点校部活動の枠組みから地域クラブ化できるか。

- ②中体連との関連。地域クラブ化する時期を明確化する。

- ③外部指導者との連携。（指導者として）

- ④保護者への説明。

※現在の部活動を地域クラブとする。外部指導者・指導する教職員を中心に、地域クラブとして活動する。（拠点校部活動を地域クラブとする）

＜共通検討課題＞

※1 地域クラブ3人程度スタッフがいれば充実する。

※謝金は原則、受益者負担。（1人月額10000～20000円 クラブで決定する）

※加入範囲について。（地域クラブ募集の範囲は各地域クラブで設定する。狭ければスタッフ確保や移動の負担は軽減されるが、生徒数が増えない状況は変わらない）